

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称 :

製品名称 : 塩化カリウム(食添)

製品番号 (SDS NO) : D004392-3

推奨用途及び使用上の制限

使用上の制限 : 食品添加物

供給者の会社名称、住所及び電話番号

供給者の会社名称 : 国産化学株式会社

住所 : 東京都中央区日本橋本町3丁目1番3号

担当部署 : 品質保証部

電話番号 : 0120-81-5930

FAX : 0120-11-5930

e-mail address : cs@kokusan-chem.co.jp

緊急連絡電話番号 : 0120-81-5930

2. 危険有害性の要約

化学品のGHS分類

健康に対する有害性

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性:区分 2B

(注)記載なきGHS分類区分:該当せず/分類対象外/区分外/分類できない

GHSラベル要素

絵表示:該当しない

注意喚起語:警告

危険有害性情報

眼刺激

注意書き

安全対策

取扱い後は手をよく洗うこと。眼には触らないこと。

応急措置

眼に入った場合:水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

眼の刺激が続く場合:医療処置を受けること。

廃棄

内容物/容器を地方/国の規則に従って廃棄すること。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別：

化学物質

化学的特定名：塩化カリウム

成分名	含有量 (%)	CAS No.	化審法番号	化学式
塩化カリウム	99≦	7447-40-7	1-228	KCl

注記:これらの値は、製品規格値ではありません。

4. 応急措置

応急措置の記述

吸入した場合

吸入した場合:空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。

気分が悪い時は、医療処置を受けること。

皮膚に付着した場合

多量の水と石鹼で優しく洗う。

皮膚刺激が生じた場合:医療処置を受けること。

眼に入った場合

眼に入った場合:水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

眼の刺激が続く場合:医療処置を受けること。

急性症状及び遅延性症状の最も重要な徴候症状

吸入:咳、咽頭痛。

眼:発赤、痛み。

経口摂取:下痢、吐き気、嘔吐、脱力感、痙攣。

応急措置をする者の保護に必要な注意事項

救助者はゴム手袋と密閉ゴーグルなどの保護具を着用する。

5. 火災時の措置

消火剤

適切な消火剤

周辺設備に適した消火剤を使用する。

この製品自体は燃焼しない。

使ってはならない消火剤

水は冷却の目的には用いてもよいが、消火の効果はない。

火災時の特有の危険有害性

火災によって刺激性、有毒及び/又は腐食性のガスを発生するおそれがある。

消火を行う者への勧告

特有の消火方法

関係者以外は安全な場所に退去させる。

霧状水により容器を冷却する。

消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置

保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

- 関係者以外は近づけない。
- 回収が終わるまで十分な換気を行う。
- 適切な保護具を着用する。

環境に対する注意事項

- 上水源、河川、湖沼、海洋、地下水に漏洩しないようにする。
- 粉じんが飛散しないようにする。

封じ込め及び浄化の方法及び機材

- 掃き集めて、容器に回収する。
- 残留分を注意深く集め、安全な場所に移す。

二次災害の防止策

- 漏出物を回収すること。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策

- (局所排気、全体換気)
排気/換気設備を設ける。
- (注意事項)
皮膚に触れないようにする。
眼に入らないようにする。

安全取扱注意事項

- 保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。
- 取扱い後は手、汚染箇所をよく洗う。
- 取扱中は飲食、喫煙してはならない。

衛生対策

- 取扱い後は手をよく洗うこと。眼には触らないこと。

保管

安全な保管条件

- 容器を密閉しておくこと。
- 涼しいところに置くこと。
- 乾燥した場所に保管すること。
- 日光から遮断し、換気の良い場所で保管すること。

8. ばく露防止及び保護措置

許容濃度等

管理濃度及び濃度基準値 設定されていない

設備対策

- 適切な換気のある場所で取扱う。
- 排気/換気設備を設ける。
- 洗眼設備を設ける。
- 手洗い/洗顔設備を設ける。

保護具

呼吸用保護具

- 呼吸用保護具を着用すること。

手の保護具

保護手袋を着用する。

眼及び/又は顔面の保護具

保護眼鏡/顔面保護具を着用する。

9. 物理的及び化学的性質

物理状態：吸湿性結晶または結晶性粉末

色：無色または白色

臭い：無臭

融点/凝固点：770 - 773°C

沸点又は初留点及び沸点範囲：(Sublimation) 1500°C

可燃性：不燃性

pH：5-8 (50g/L, 25°C)

溶解度：

水に対する溶解度：35.5g/100g (25°C)

溶媒に対する溶解度：エタノールに溶けにくい

n-オクタノール/水分配係数データなし

密度及び/又は相対密度：1.98g/cm³

10. 安定性及び反応性

化学的安定性

通常の保管条件/取扱い条件において安定である。

吸湿性

避けるべき条件

加熱

危険有害な分解生成物

塩素化合物

11. 有害性情報

毒性学的影響に関する情報

急性毒性

急性毒性(経口)

[成分データ]

[会社固有データ]

rat LD50=3020mg/kg (出典: SIDS, 2001)

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性

[製品]

区分 2B, 眼刺激

[成分データ]

[会社固有データ]

ウサギ500mg/24H 経度(出典: RTECS)

ウサギの試験で、適用24時間後の観察で”mild reaction”と評価されている。(出典: SIDS, 2001)

呼吸器感作性又は皮膚感作性データなし

生殖細胞変異原性データなし

発がん性データなし

催奇形性データなし

生殖毒性データなし
特定標的臓器毒性(単回ばく露)データなし
特定標的臓器毒性(反復ばく露)データなし
誤えん有害性データなし

12. 環境影響情報

生態毒性

水生環境有害性

[成分データ]

水生環境有害性 短期(急性)

[会社固有データ]

甲殻類(オオミジンコ) EC50=660mg/L/48hr (出典: SIDS, 2001)

水溶解度

(塩化カリウム)

35.5g/100g (25°C) (出典: HSDB)

よく溶ける (20°C) (出典: ICSC, 2003)

残留性・分解性

残留性・分解性データなし

生体蓄積性

[会社固有データ]

(塩化カリウム)

log Kow=0.15 (出典: PHYSPROP DB, 2005)

土壤中の移動性

土壤中の移動性データなし

他の有害影響

オゾン層への有害性データなし

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物

廃棄の前に可能な限り無害化、安定化及び中和などの処理を行なって危険有害性のレベルを低い状態にする。都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行なっている場合には、そこに委託して処理する。

汚染容器及び包装

容器は清浄して関連法規ならびに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去する事。

14. 輸送上の注意

国際規制

UNRTDG

国連番号: 該当しない

IMDG Code (国際海上危険物規程)

国連番号: 該当しない

IATA (航空危険物規則書)

国連番号: 該当しない

環境有害性

海洋汚染物質(該当/非該当): 非該当

環境有害性物質/混合物(該当/非該当): 非該当

特別の安全対策

乾燥状態を保つ。

IMOによるばら積み輸送される物質

MARPOL条約附属書II - 有害液体物質

有害液体物質(Z類)

塩化カリウム

15. 適用法令

該当法令

毒物及び劇物取締法

毒物及び劇物取締法に該当しない。

労働安全衛生法

有機則に該当しない

名称等を表示し、又は通知すべき危険物及び有害物に該当しない。

消防法に該当しない。

化審法における特定化学物質、監視化学物質、優先評価化学物質に該当しない。

船舶安全法に該当しない。

航空法に該当しない。

適用法規情報

食品衛生法: 指定添加物(法第10条、施行規則第12条・別表第1)【81 塩化カリウム】

16. その他の情報

参考文献及び情報源

Globally Harmonized System of classification and labelling of chemicals, UN

Recommendations on the TRANSPORT OF DANGEROUS GOODS 23rd edit., 2023 UN

IMDG Code, 2024 Edition (Incorporating Amendment 42-24)

IATA 航空危険物規則書 第67版 (2026年)

2024 EMERGENCY RESPONSE GUIDEBOOK (US DOT)

2026 TLVs and BEIs. (ACGIH)

JIS Z 7252:2019

JIS Z 7253:2019

JIS Z 7252 : 2025 (※)

JIS Z 7253 : 2025 (※)

許容濃度等の勧告 (2025年度) (日本産業衛生学会)

Supplier's data/information

化学品安全データ管理システム "GHS Assistant" Version 4.38 (<https://www.asahi-ghs.com/>)

独立行政法人 製品評価技術基盤機構 化学物質総合情報提供システム(NITE-CHRIP)

※ お知らせ

弊社では今回のフォーマット更新をスタートとしてJIS 2025 へのSDS対応を段階的に行い、最終的に2030年までに対応完了を予定しております。それに伴い、段階的にSDSフォーマットを更新してまいります。ご利用の皆様にはご不便の無いように更新してまいりますので、御理解のほど宜しくお願い致します。

責任の限定について

本記載内容は、現時点で入手できる資料、情報データに基づいて作成しており、新しい知見によって改訂される事があります。また、注意事項は通常の取扱いを対象としたものであって、特殊な取扱いの場合には十分な安全対策を実施の上でご利用ください。

ここに記載されたデータは最新の知識及び経験に基づいたものです。安全性データシートの目的は当該製品を安全に取り扱って頂くための情報を提供するものです。ここに記載されたデータは製品の性能について何ら保証するものではありません。
ここに記載したGHS分類区分の算定根拠は現時点における日本公表データです。